

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成25年9月12日(2013.9.12)

【公開番号】特開2011-38636(P2011-38636A)

【公開日】平成23年2月24日(2011.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-008

【出願番号】特願2010-178238(P2010-178238)

【国際特許分類】

F 1 7 C 13/08 (2006.01)

【F I】

F 1 7 C 13/08 3 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月6日(2013.8.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の支持フランジ(25)を有する圧力容器(10)と、  
前記圧力容器(10)を取り囲み、前記圧力容器(10)を支持するペDESTALブラケット(20)と、  
前記支持フランジ(25)のそれぞれと前記ペDESTALブラケット(20)との間にある滑り支持装置(300)と、  
を備え、  
前記滑り支持装置(300)のそれぞれが、前記圧力容器(10)を半径方向に伸縮させるように構成され、  
前記滑り支持装置(300)のそれぞれが、  
それぞれの支持フランジ(25)に装着されるように構成された支点保持部(310)と、  
前記支点保持部(310)に装着され、半径方向にほぼ垂直で、三角形の横断面と底面とを有する縦方向長さを有する支点支持部(320)と、  
前記支点支持部(320)の前記縦方向長さとはほぼ平行な長手方向長さを有するベースプレートブロック(330)と、  
を備え、  
前記ベースプレートブロック(330)は、縦方向の両端にある第1の端部および第2の端部と、前記第1の端部および前記第2の端部の間にあり、前記第1の端部および前記第2の端部の高さよりも低い高さを有する中間部とを有し、  
前記ベースプレートブロック(330)は、前記ペDESTALブラケット(20)に装着されて、前記支点支持部(320)を支持し、  
前記支点支持部(320)の前記底面は半径方向に前記ベースプレートブロック(330)の前記中間部の上面に沿ってスライド可能である、  
システム。

【請求項 2】

前記支点保持部(310)は溝(314)が形成された底面を含む請求項1に記載のシステム。

【請求項 3】

前記溝（３１４）は第１の半径（Ｒ３１０）を有する請求項２に記載のシステム。

【請求項４】

前記支点支持部（３２０）は、前記第１の半径（Ｒ３１０）とほぼ同一である半径（Ｒ３２０）を有する丸み付け上頂部を有する請求項３に記載のシステム。

【請求項５】

前記ベースプレートブロック（３３０）は、前記半径方向にほぼ垂直な縦方向長さを有し、その両端に第１の端部分および第２の端部分を有し、

前記第１の端部分は第１の高さ（ $h_1$ ）を有し、第２の端部分（３３６）は第２の高さ（ $h_2$ ）を有し、中央部分（３３４）が第３の高さ（ $h_3$ ）を有する、  
請求項１に記載のシステム。

【請求項６】

垂直運動抑制部（４００）を更に具備する請求項１に記載のシステム。

【請求項７】

圧力容器の支持フランジ（２５）に装着されるように構成された支点保持部（３１０）と、

前記支点保持部（３１０）に装着され、三角形の横断面と底面とを有する縦方向長さを有する支点支持部（３２０）と、

前記支点支持部（３２０）の前記縦方向長さとはほぼ平行な長手方向長さを有するベースプレートブロック（３３０）と、  
を備え、

前記ベースプレートブロック（３３０）は、縦方向の両端にある第１の端部および第２の端部と、前記第１の端部および前記第２の端部の間にあり、前記第１の端部および前記第２の端部の高さよりも低い高さを有する中間部とを有し、

前記ベースプレートブロック（３３０）は、前記支点支持部（３２０）を支持し、

前記支点支持部（３２０）の前記底面は前記ベースプレートブロック（３３０）の前記中間部の上面に沿ってスライド可能であり、

前記支点支持部（３２０）は、前記支点支持部（３２０）の前記縦方向長さにはほぼ垂直な方向にスライド可能である、  
滑り支持装置（３００）。